

十勝圏複合事務組合の概要



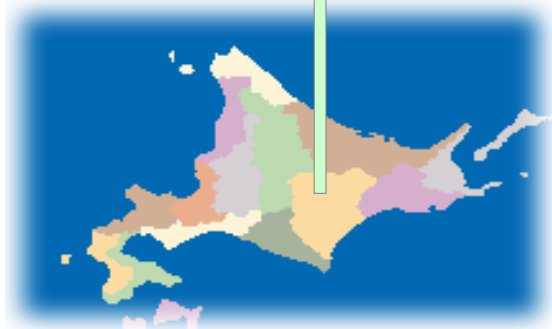
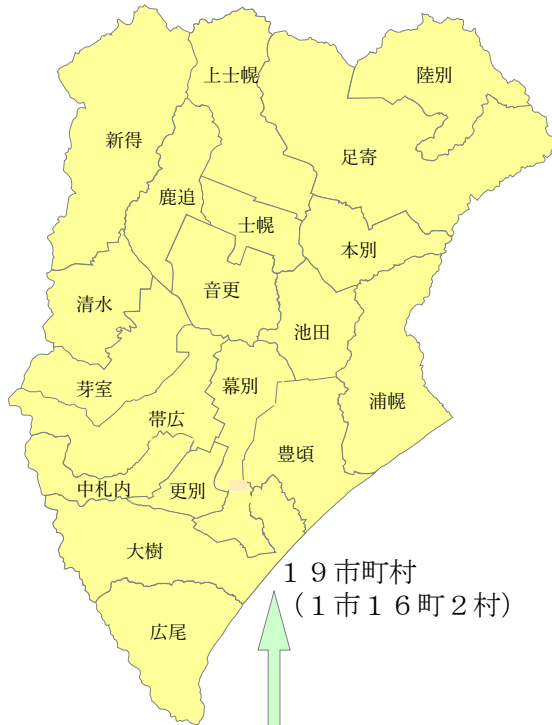
令和2年4月

十勝圏複合事務組合

目 次

十勝圏域図	…	1
構成市町村人口・世帯数	…	1
十勝圏複合事務組合とは	…	2
沿革	…	2
共同処理事務		
(1) 十勝圏の総合的な振興計画の策定及び施策の推進並びに 地域の振興整備についての連絡調整に関する事務	…	3
(2) 高等看護学院及び附属施設の設置、維持管理・運営に関 する事務	…	3
(3) 教育研修センターの設置、維持管理・運営に関する事務	…	4
(4) 十勝市町村税滞納整理機構の設置、運営に関する事務	…	4
(5) し尿処理施設の設置、維持管理・運営に関する事務	…	4
(6) ごみ処理施設及び最終処分場の設置、維持管理・運営に 関する事務	…	5
(7) 十勝川流域下水道施設の維持管理・運営に関する事務	…	4
組織機構	…	6
組合の経費	…	7
財政状況	… 8～	9
十勝ふるさと市町村圏基金事業	…	10
施設の概要	… 11～	15

■十勝圏域図



市区町村	人 口	世帯数
帯 広 市	165,384 人	88,209 世帯
音 更 町	44,136 人	20,418 世帯
士 幌 町	6,031 人	2,759 世帯
上士幌町	4,960 人	2,569 世帯
鹿 追 町	5,275 人	2,454 世帯
新 得 町	5,890 人	3,240 世帯
清 水 町	9,320 人	4,711 世帯
芽 室 町	18,430 人	7,962 世帯
中札内村	3,881 人	1,872 世帯
更 別 村	3,155 人	1,332 世帯
大 樹 町	5,462 人	2,720 世帯
広 尾 町	6,564 人	3,274 世帯
幕 別 町	26,505 人	12,494 世帯
池 田 町	6,552 人	3,338 世帯
豊 頃 町	3,124 人	1,480 世帯
本 別 町	6,710 人	3,526 世帯
足 寄 町	6,667 人	3,387 世帯
陸 別 町	2,334 人	1,306 世帯
浦 幌 町	4,576 人	2,244 世帯
十勝圏域計	334,956 人	169,295 世帯

(令和2年3月31日現在)

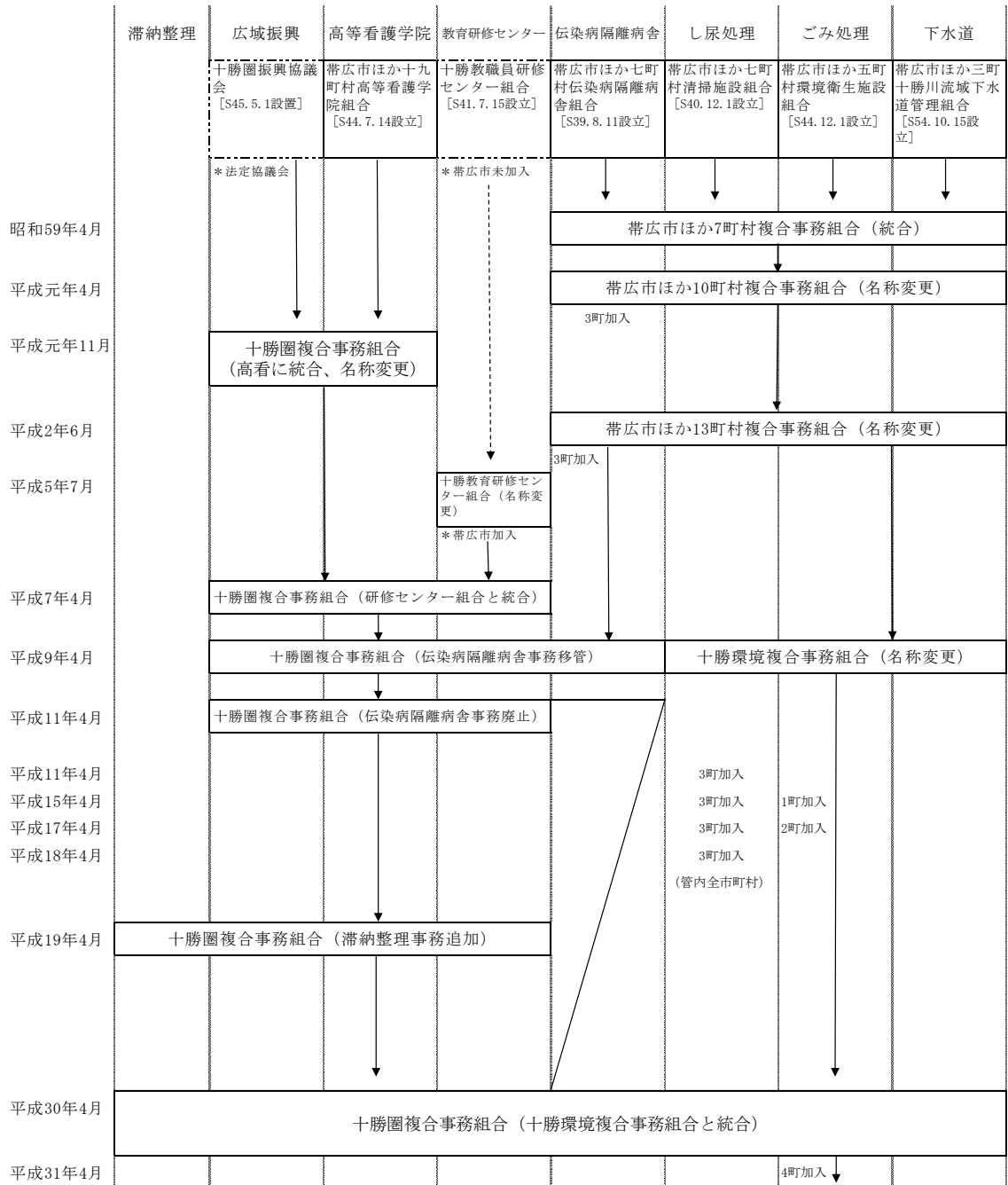
圏域内総面積
10,831.62 平方 km

主要都市からの所要時間	
東京から飛行機	約1時間30分
札幌からJR(特急)	約2時間15分
札幌から車	約3時間00分

■十勝圏複合事務組合とは

北海道十勝総合振興局内にある19市町村（1市16町2村）で構成される特別地方公共団体で、地方自治法に基づく一部事務組合です。平成元年11月24日設立以降、住民のサービス向上を目指し、事務の追加や統廃合、構成市町村数の増減などを経て、今日に至っています。

■沿革



※平成18年2月6日 忠類村が幕別町に合併

■共同処理事務

組合では、次のような事務を行っています。

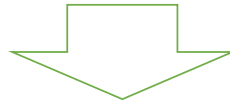
- (1) 十勝圏の総合的な振興計画の策定及び施策の推進並びに地域の振興整備についての連絡調整に関する事務

十勝圏ふるさとづくりプラン（令和2年度～6年度）

～十勝圏の未来像～

無限の可能性を秘めた自然環境を活かし、
地域に密着した産業と、
個性あふれる地域空間の連携を育み、
安心・安全で豊かな暮らしをつくる

「夢大陸・とかち」の創造



【移住・定住の促進】

- 十勝圏への移住・定住希望者に対する情報提供と一体的な情報発信
- 大都市圏での移住イベントにおけるPR
- 「どさんこ交流テラス」との連携強化
- 地域おこし協力隊の取組み紹介

【交流人口や関係人口の拡大】

- 地域の資源を活用したイベントの開催
- 地域住民の国際化意識の啓発

【広域連携の推進及び共通課題への取組み】

- 広域連携による人材育成やイベントなどソフト事業の開催支援
- 広域行政に関する調査・研究・検討への支援
- 圏域の共通課題への取組み

- (2) 高等看護学院及び附属施設の設置、維持管理・運営に関する事務

【帯広高等看護学院】

十勝管内20市町村が加入する帯広市ほか19町村高等看護学院組合（現十勝圏複合事務組合、加入19市町村）が、地域に有用な人材の育成を目指して、昭和45年に設立しました。

看護師として必要な知識と技能を習得させるとともに、豊かな人間性を養い、専門職業人としての自覚と責任をもち、地域医療の充実に貢献できる地域保健医療の担い手となる看護師を養成することを目的として運営されています。

- ・学科及び定員 看護学科 入学定員45名 修業年限3年
- ・所在 〒080-0021 北海道帯広市西11条南39丁目1番3号
TEL (0155) 47-8881 FAX (0155) 47-8882
- ・<http://www.octv.ne.jp/~obikan/>

(3) 教育研修センターの設置、維持管理・運営に関する事務

【十勝教育研修センター】

十勝管内19市町村が共同で設置した教育研修施設です。生涯学習の時代を迎え、中核となるべき学校教育・社会教育関係者の専門的な研修の場として活用されています。また、研修室の利用がない時は地域住民に対しても貸室し、ご利用いただいています。

・所在 〒089-0531 北海道中川郡幕別町札内暁町290番地2

TEL (0155) 56-2065 FAX (0155) 56-3905

・<https://tokachi-tbc.jimdo.com/>

(4) 十勝市町村税滞納整理機構の設置、運営に関する事務

【十勝市町村税滞納整理機構】

市町村税等の滞納が複雑化しており、処理困難なものも増加してきていることから、十勝管内19市町村が連携し、平成19年4月に設置されました。広域的な徴収体制を設けて、専門的で効率的に滞納整理を行っています。

・所在 〒080-8588 北海道帯広市東3条南3丁目 十勝合同庁舎内

TEL (0155) 26-0090 FAX (0155) 26-0130

・<http://tokachi-kikou.jp/>

(5) し尿処理施設の設置、維持管理・運営に関する事務

(7) 十勝川流域下水道施設の維持管理・運営に関する事務

【十勝川流域下水道浄化センター】

十勝川水系の水質汚濁防止を目的として、帯広市、音更町、芽室町及び幕別町の下水を処理している終末処理場です。昭和55年1月より供用開始しています。

また、管内19市町村のし尿や浄化槽汚泥についても受入施設を建設し、平成30年4月から下水との共同処理を行っています。

・所在 〒080-0048 北海道帯広市西18条北3丁目13番地1

TEL (0155) 33-8662 FAX (0155) 33-2165

・<http://www.tokachiken.hokkaido.jp/purifi/>

(6) ごみ処理施設及び最終処分場の設置、維持管理・運営に関する事務

【くりりんセンター】

十勝管内13市町村（帯広市、音更町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町）の一般廃棄物の焼却・破砕などを行っている中間処理施設です。

平成8年10月1日より供用開始しています。余熱を利用した発電施設やパークゴルフ場を備えた施設となっています。

- ・所在 〒080-2464 北海道帯広市西24条北4丁目1番地5
- TEL (0155) 37-3550 FAX (0155) 37-4119
- ・<http://www.tokachiken.hokkaido.jp/kuririn/>

【うめーるセンター美加登】

くりりんセンターの焼却灰などを埋立てている一般廃棄物の最終処分場です。

昭和59年から音更町の鎮練地区で埋立処分を行っていましたが、平成23年3月31日で埋立を終了し、平成23年4月1日から池田町美加登で新たに整備した最終処分場の供用を開始しています。

- ・所在 〒089-3155 北海道中川郡池田町字美加登279番10
- ・問合先 〒080-2464 北海道帯広市西24条北4丁目1番地5 くりりんセンター
- TEL (0155) 37-3550 FAX (0155) 37-4119
- ・<http://www.tokachiken.hokkaido.jp/ume/>

【十勝リサイクルプラザ】

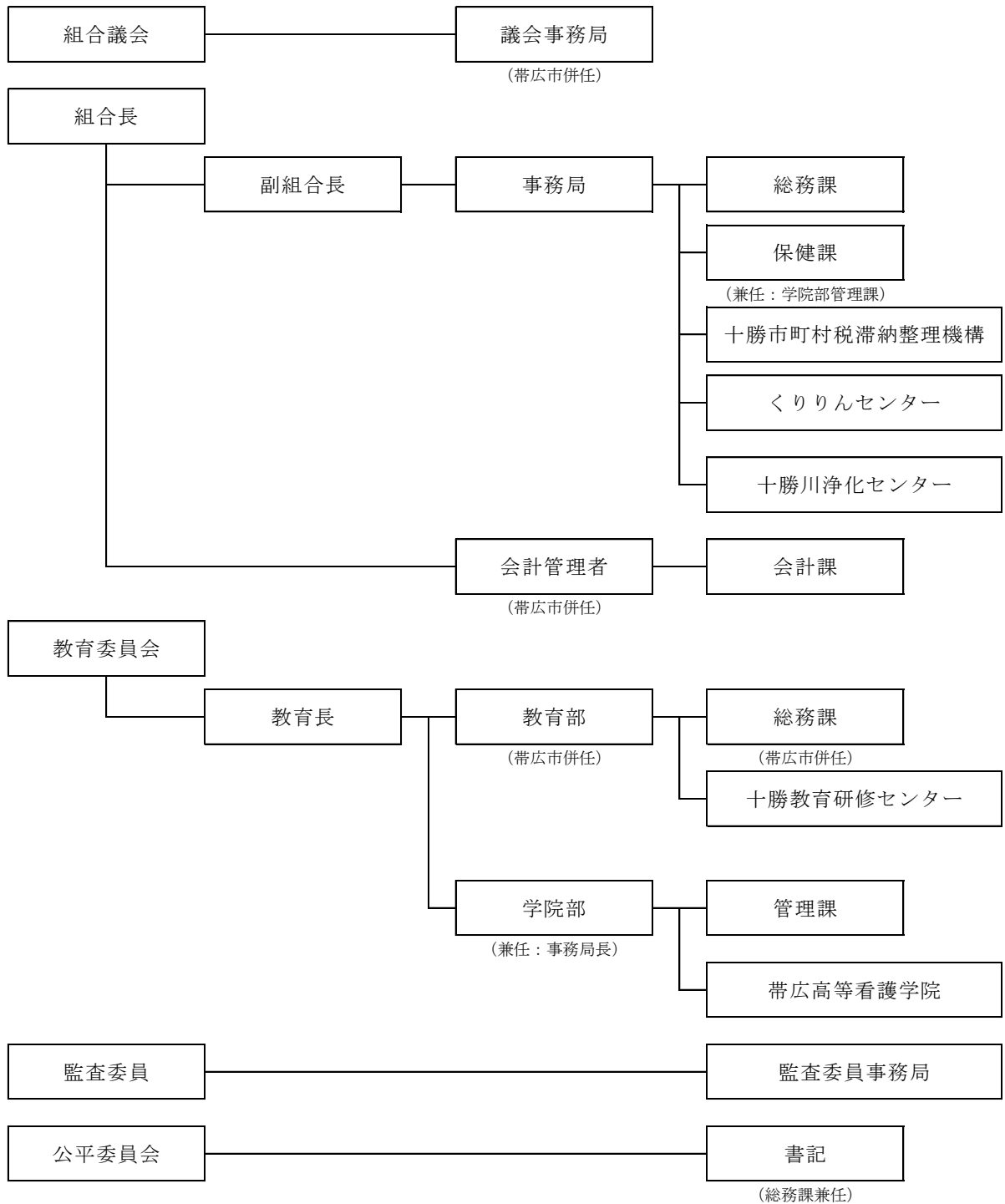
資源ごみの中間処理施設です。平成12年4月から本格実施となった容器包装リサイクル法の施行に伴い、十勝管内8市町村（帯広市、音更町、芽室町、中札内村、更別村、幕別町、池田町、豊頃町）が収集した「一般家庭から排出される容器包装系資源ごみ」を選別・圧縮・梱包・保管し、指定法人である「公益財団法人日本容器包装リサイクル協会」に分別基準適合物（リサイクル原料）として引き渡すまでの業務を行っています。

- ・所在 〒080-2463 北海道帯広市西23条北4丁目6番地5 株式会社ウインクリン
- ・問合先 〒080-2464 北海道帯広市西24条北4丁目1番地5 くりりんセンター
- TEL (0155) 37-3550 FAX (0155) 37-4119
- ・<http://www.tokachiken.hokkaido.jp/kuririn/recycling>

■組織機構

専任職員 44名

副組合長 1名、事務局長 1名、総務課 7名、保健課 2名、滞納整理機構 5名、
十勝川浄化センター 4名、くりりんセンター 10名、会計課 1名、監査委員事務局 1名、
教育職員（帯広高等看護学院） 12名



■組合の経費

組合の経費は、主に構成市町村の負担金でまかなっており、負担金の割合は以下のとおりです。

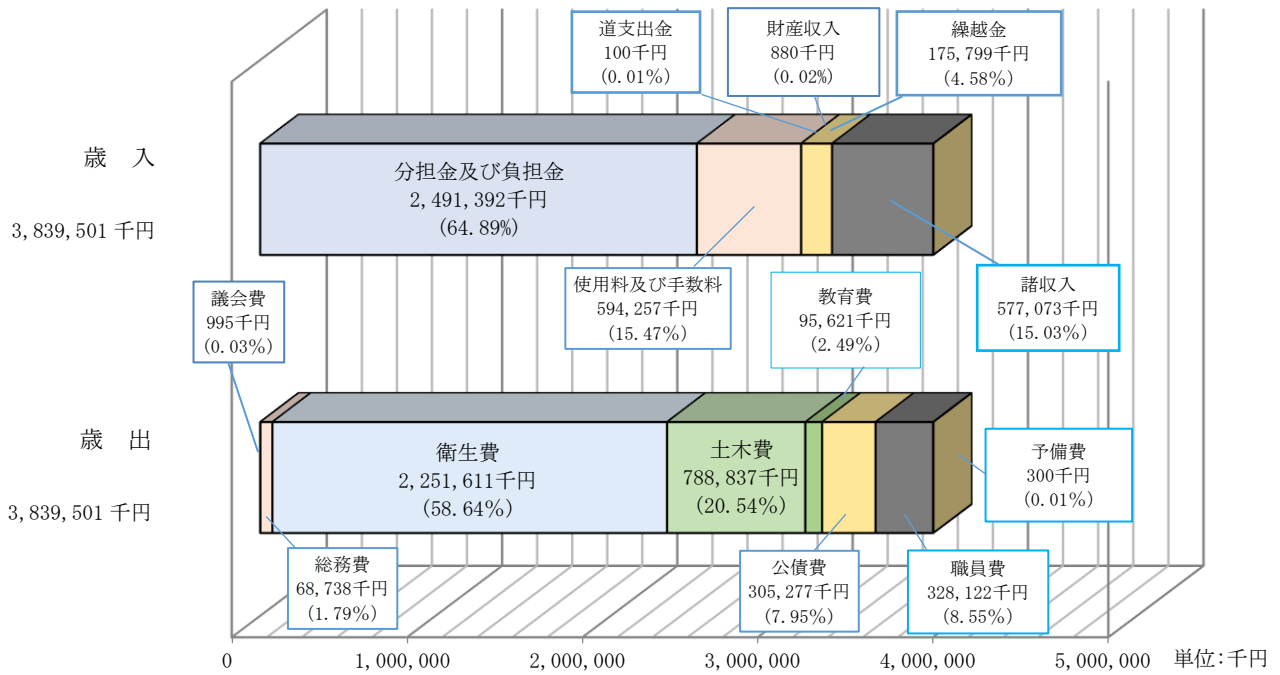
項目	負担種別	備考
議会費、公平委員会費、監査委員 費及び教育委員会費	均等割	
十勝圏の総合的な振興計画の策定 及び施策の推進並びに地域の振興 整備についての連絡調整に関する 経費	均等割	均等割 20%
	人口割	人口割 80%
高等看護学院の平常運営に伴う経 費		帯広市 70% 音更町ほか 17 町村 30% (この分賦は、均等割 25%、 人口割 75%)
教育研修センターの平常運営に伴 う経費	均等割 基準財政需要額割 児童生徒数割	均等割 30% 基準財政需要額割 40% 児童生徒数割 30%
十勝市町村税滞納整理機構の平常 運営に伴う経費	均等割 引継件数割 徴収実績割	※組合長が組合議会の議決を経 て定める。
し尿処理施設、ごみ処理施設及び 最終処分場の新・改築に伴う経費	基本容量割	
し尿処理施設、ごみ処理施設及び 最終処分場の平常運営に伴う経費	基本容量割 実績使用量割	
十勝川流域下水道施設の流入汚水 に係る経費	実績使用量割	
十勝川流域下水道管理運営に要す る経費から流入汚水に係る経費を 控除した経費	基本容量割	

■ 財政状況

令和2年度一般会計当初予算

歳入は多い順に、構成市町村からの分担金、使用料及び手数料、繰越金などとなっています。

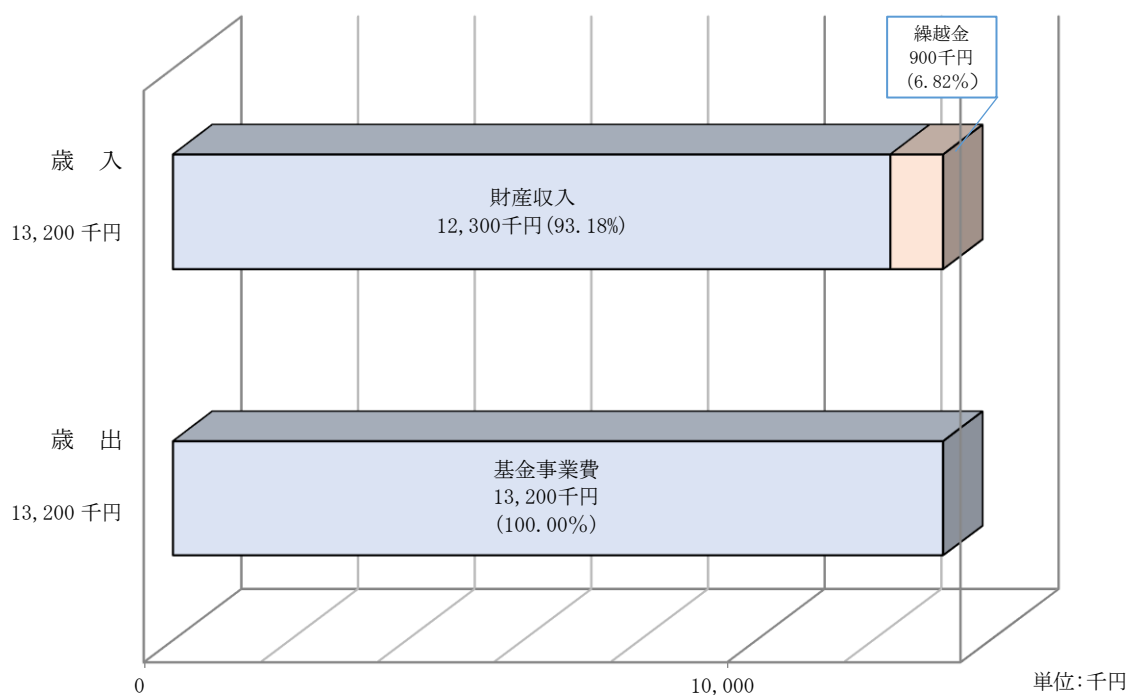
歳出は多い順に、衛生費(し尿やごみの処理・施設維持管理経費)、土木費(下水処理・施設維持管理経費)、職員費、公債費(借入金)などとなっています。



令和2年度十勝ふるさと市町村圏基金事業会計当初予算

歳入のほとんどは十勝ふるさと市町村圏基金の運用益です。




歳出は、ブロック別広域促進事業や移住促進事業などの基金事業費となっています。



■十勝ふるさと市町村圏基金事業

イメージテーマ「夢大陸・とがち」

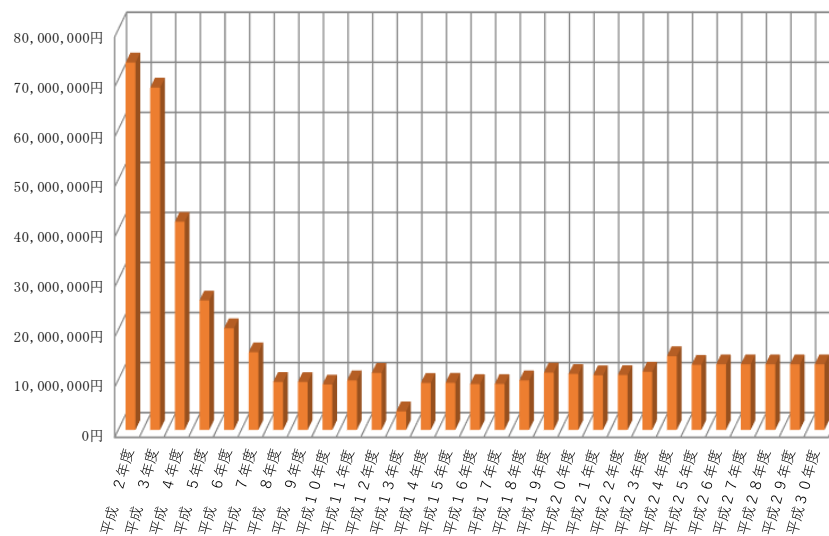
平成元年及び平成2年度の2か年で「10億円」の基金を造成し、その運用益で十勝地域の振興発展に結び付くソフト事業を展開しています。

事業名	事業内容	
インターネット・サイトによる情報提供	圏域に関する情報を提供・発信していくため、十勝圏ホームページを開設し、観光をはじめとする地域情報を提供しています。 URL http://www.tokachiken.hokkiado.jp/	 十勝圏ホームページ
移住・定住の促進	首都圏で開催される北海道をPRするイベントに参加し、十勝圏域への移住促進のための相談業務等を行うものです。 また、十勝圏域への移住を促進するため、各種媒体を活用し、十勝圏域の移住情報を発信しています。	 移住フェアへの出展
交流人口・関係人口の拡大	地域が持つ魅力や潜在能力を効果的に発信し、十勝に人の流れを呼び込み、交流人口や関係人口の拡大につなげるため、令和2年度からキャラクターカード等の事業を行います。	
広域連携の推進及び共通課題への取り組み	十勝管内各ブロックにおいて、広域イベントの開催、地域振興に関わる人材育成、市町村合併及び広域連携に関する検討にかかる経費について、その一部または全部を負担し、広域連携の促進を図るものです。	北ブロック：音更町、士幌町、上士幌町 西ブロック：鹿追町、新得町、清水町、芽室町 南ブロック：中札内村、更別村、幕別町、大樹町、広尾町 東ブロック：幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町 東北ブロック：本別町、足寄町、陸別町 帯広ブロック：帯広市、音更町、芽室町、幕別町

十勝ふるさと市町村圏基金運用状況

年 度	運用益
平成2年度	73,393,171円
平成3年度	68,384,960円
平成4年度	41,574,493円
平成5年度	25,854,318円
平成6年度	20,302,729円
平成7年度	15,507,138円
平成8年度	9,593,107円
平成9年度	9,569,718円
平成10年度	9,064,378円
平成11年度	9,885,612円
平成12年度	11,388,488円
平成13年度	3,702,735円
平成14年度	9,387,764円
平成15年度	9,414,794円
平成16年度	9,150,036円
平成17年度	9,170,547円
平成18年度	9,895,796円
平成19年度	11,456,707円
平成20年度	11,177,923円
平成21年度	10,914,451円
平成22年度	10,957,976円
平成23年度	11,625,402円
平成24年度	14,736,301円
平成25年度	13,000,612円
平成26年度	13,103,148円
平成27年度	13,102,098円
平成28年度	13,101,521円
平成29年度	13,101,586円
平成30年度	13,101,095円
合 計	494,618,604円

十勝ふるさと市町村圏基金 運用益の推移



■施設の概要

【帯広高等看護学院】

- ・建設事業 校舎：平成7年3月竣工 体育館：平成7年10月竣工
- ・建物構造 校舎：鉄筋コンクリート造3階建
体育館：鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 10,000 m²
- ・延床面積 校舎：3,130 m²
体育館：519 m²
- ・建物概要

	床面積	主な設備
教室（3学年×各1教室）	286 m ²	机、椅子
看護実習室	401 m ²	ナーステーブル、 未熟児用保育器
在宅看護実習室	268 m ²	訓練用ベッド、 展示ケース
図書館	175 m ²	書架、雑誌架
体育館	469 m ²	幕、卓球台
学生サロン	111 m ²	テーブル、椅子、座卓

【十勝教育研修センター】

- ・建設事業 平成6年5月着工 平成7年3月竣工
- ・建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・敷地面積 5,100 m²
- ・延床面積 1,981 m²（1階1,271 m²、2階710 m²）
- ・建物概要

	床面積	定員	主な設備
講堂	204 m ²	144名	放送設備、演台
第1研修室	65 m ²	30名	
第2研修室	68 m ²	36名	
コンピュータ室	108 m ²	24名	パソコン24台
美術室	102 m ²	24名	陶芸窯
工作室	94 m ²	24名	工作台・工作機械
理科室	97 m ²	30名	実験台・電源装置
音楽室	97 m ²	30名	ピアノ・エレクトーン
視聴覚室	68 m ²	30名	ビデオプロジェクター
調理室	86 m ²	24名	調理台
和室	43 m ²	24名	茶室設備
図書館	86 m ²	4名	
小会議室	30 m ²	14名	

【十勝川流域下水道浄化センター】

昭和47年より帯広市の下水道事業として着手しておりましたが、昭和52年、1市3町（帯広市、音更町、芽室町、幕別町）の流域下水道事業として、北海道が事業主体となり、再スタートしました。

関係する1市3町が建設分担金を北海道に支払い、施設の維持管理については、当組合が北海道から委託を受けて行っていたが、平成18年4月から指定管理者制度が導入され、1市3町で構成する十勝川流域下水道維持管理連合体が指定管理者となり、その共同処理を当組合が行っていました。

平成26年4月からは、指定管理者制度が廃止となり、北海道と流域関連公共下水道管理者（1市3町）との協議・協定により当組合が共同処理を行っています。

また、中島処理場の閉鎖に伴い、平成30年4月から管内1市18町村のし尿・浄化槽汚泥等の受け入れも行っています。

- ・ 処理能力 104,300 m³/日
- ・ 処理方法 汚水 標準活性汚泥法
汚泥 濃縮嫌気性消化、ベルトプレス脱水、遠心脱水
スクリーンプレス脱水、間接乾燥
- ・ 水質(計画) 流入水 BOD^{*1} 210m g/L SS^{**2} 230m g/L
放流水 BOD 15m g/L SS 40m g/L
- ・ 供用開始 昭和55年1月

・ 流 入 量

平成29年度	平成30年度	令和元年度
25,533,396 m ³	26,972,819 m ³	25,368,056 m ³

・ し尿・浄化槽汚泥受入量

平成30年度	令和元年度
49,944.4 kℓ	48,803.4 kℓ

^{*1}BOD(Biochemical Oxygen Demand:生物化学的酸素要求量)

水の汚染を表す指標のひとつ。好気性微生物が一定時間中に水中の有機物(汚物)を酸化・分解する際に消費する溶存酸素の量。汚濁の度合いとして用いる。

^{**2}SS(Suspended Solid:浮遊物質)

水中に浮遊している固形物をいう。水中の汚濁の度合いを表す指標として用いる。

【一般廃棄物中間処理施設（くりりんセンター）】

- ・建設事業 平成5年9月着工 平成8年9月竣工
- ・建物構造 焼却棟：鉄筋コンクリート造・鉄骨造
粗大ごみ棟：鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造
管理棟：鉄筋コンクリート造
- ・敷地面積 73,043 m²（内ごみ処理施設用地面積 47,012 m²）
- ・建物面積 焼却棟：6,323 m²
粗大ごみ棟：4,953 m²
管理棟：1,201 m²
- ・延床面積 焼却棟：15,257 m²
粗大ごみ棟：6,383 m²
管理棟：1,774 m²
- ・施設規模
 - ① ごみ処理施設
能力 330t/日（110t/日×3炉）
焼却条件 焼却残渣の熱灼減量5%以下、焼却温度800℃～950℃、基準8.8MJ/kg
 - ② 粗大ごみ処理施設
能力 110t/日（破碎能力80t/5h、圧縮能力30t/5h）
破碎施設 一次破碎機（低速横型二軸回転式110kW×2）
二次破碎機（堅型高速回転式220kW×2）
 - ③ くりりん発電所
発電規模 8,600kW（汽力発電7,000kW、ガスタービン発電1,600kW）
余熱利用 発電（所内40%・売電60%） 場内冷暖房、ロードヒーティング等
 - ④ くりりんパーク
敷地面積 26,035 m²
パークゴルフ場18ホール、ジョギングコース1周520m、
北の樹木園（約160種）、夜間照明、トイレ、駐車場
 - ⑤ くりりんプラザ（環境体験学習施設）
見学路 2,181 m²（管理棟・工場棟内）
アメニティホール、環境学習室、研修室（140名収容）
- ・搬入量

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
可燃ごみ	60,152.43t	60,710.06t	64,564.88t
不燃ごみ	11,708.11t	12,103.39t	12,149.55t
合計	71,860.54t	72,813.45t	76,714.43t

【一般廃棄物最終処分場（うめーるセンター美加登）】

- ・建設事業 平成 20 年 9 月着工 平成 23 年 3 月竣工
- ・建物構造 埋立棟：鉄骨平屋建（屋根：折板、壁：角波鉄板一部プレキャスト板）
管理・水処理棟：RC造平屋建
- ・敷地面積 166,000 m²
- ・床面積 埋立棟：30,063 m²
管理・水処理棟：562 m²
- ・埋立面積 27,029 m²
- ・埋立容量 311,200 m³（廃棄物 252,000 m³、覆土 59,200 m³）
- ・埋立計画期間 15 年間
- ・埋立構造 準好気性埋立構造
- ・浸出水処理方式 処理量 25 m³/日
処理方式 逆浸透膜処理方式
- ・搬入量

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
12,365.67t	12,357.78t	12,808.49t

【資源ごみ中間処理施設（十勝リサイクルプラザ）】

平成 12 年、株式会社ウインクリン（第 3 セクター）を設立、平成 15 年 4 月から事務を委託しています。

- ・建設事業 平成 14 年 5 月着工 平成 15 年 3 月竣工
- ・委託内容 資源化事業
容器包装リサイクル法に基づく選別・圧縮・梱包・保管業務
- ・搬入量

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
13,460.79t	13,358.28t	13,479.85t

【旧一般廃棄物最終処分場（音更町万年 鎮練地区）】

一般廃棄物最終処分場として昭和 59 年 9 月から埋立処理を開始しました。平成 23 年 3 月に埋立処理を終了し、平成 23 年 4 月から廃止事業に着手しています。

- ・建設事業 昭和 58 年 7 月着工 昭和 59 年 8 月竣工
- ・敷地面積 280,000 m²
- ・埋立面積 223,000 m²
- ・埋立容量 1,057,000 m³
- ・埋立構造 準好気性埋立（セル）構造
- ・汚水処理水量 平均 250 m³/日（最大 1,200 m³/日）
- ・汚水処理方式 調整池＋生物処理（接触酸化法）＋凝集沈殿＋砂ろ過＋滅菌

十勝圏複合事務組合

〒080-2464

北海道帯広市西24条北4丁目1番地5

TEL（事務局総務課直通） 0155-37-3491

FAX（事務局総務課） 0155-37-3494

E-mail（事務局総務課宛） soumuka@tokachiken.hokkaido.jp

URL（十勝圏ウェブサイト） <http://www.tokachiken.hokkaido.jp/>

Facebook URL <https://www.facebook.com/tokachiken/>